

家庭ごみの指定袋制のあり方に関するアンケート調査

平成 16 年 11 月

京都市廃棄物減量等推進審議会

現在、京都市廃棄物減量等推進審議会（市長の諮問機関）では、指定袋制導入検討部会（市民公募委員含む 11 名で構成）を本年 7 月に立上げ、家庭ごみへの透明指定袋の早期導入に向けた検討を進めているところです。

今回、本審議会では、これまでの他都市等での指定袋の導入状況等の議論を踏まえ、今後京都市で指定袋を導入するにあたって、検討すべき方式を 3 つに絞り込んだところです。

つきましては、審議会における検討の参考とするため、この 3 方式を含む指定袋のあり方全般について、市民の皆さんからご意見をいただきたく本アンケートを実施するものです。

この結果につきましては、今後の審議の参考とさせていただきますので、お忙しいとは存じますが、調査の目的を御理解いただき、率直な御回答をお寄せくださいますよう、御協力をお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査は、市内にお住まいの方の中から無作為に選んだ 2,000 人の方に御回答をお願いしています。

調査結果につきましては、統計的に処理を行い、個人を特定することはありません。また、上記目的以外には使用いたしません。

指定袋制とは

市が、色、透明度、材質、厚さ、大きさや袋表面の印刷文字等の規格を定め、ごみの排出者がスーパー・コンビニエンスストア等の小売店で指定袋を購入して、ごみを出す制度。

指定袋以外で排出されたごみは収集しない（取り残す）のが一般的。

アンケート調査は、御家庭で実際にごみを扱っておられる方が御回答ください。

御記入が終わったアンケート調査票は、平成 16 年 11 月・日（・）

までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函していただきますようお願い致します。

なお、アンケートに御回答いただいた方で御希望の方には、京都市ごみ減量推進会議認定の缶・びん・ペットボトル排出用透明推奨袋（45ℓ×10枚）を進呈させていただきますので、最後の自由記入欄下の住所欄に郵送先の御住所を御記入ください。

ご質問がありましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

- 京都市廃棄物減量等推進審議会事務局
京都市環境局環境政策部循環型社会推進課（担当：三浦，井上）
（TEL）075-222-4091 （FAX）075-213-0453

指定袋制導入の背景

京都市では、昨年１２月に「京都市循環型社会推進基本計画」（京のごみ戦略２１）を策定し、循環型社会の構築に向けて、ごみの発生抑制、再使用などの上流対策（そもそもごみとならない仕組みづくり）に重点をおいた取組を進めています。

この透明指定袋制の導入は、この計画の重点施策の一つであり、現在、京都市廃棄物減量等推進審議会指定袋制導入検討部会で早期の導入に向けた検討を進めているところです。

一方、国の方では、平成１２年に循環型社会形成推進基本法が制定され、環境負荷の軽減と天然資源の消費の削減に向け、ごみの発生抑制、再使用、リサイクルの順に施策の優先順位が定められるなど循環型社会構築に向けた理念が示されました。また、これを受け、本年５月、国の中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会において、ごみの発生抑制を進めるための経済的な誘導方策として、またごみ処理に関する費用負担の公平化を図るため、家庭ごみの有料化（指定袋の値段にごみ処理経費の一部を含ませるのが一般的）が検討されているところです。

現在、家庭ごみに指定袋制を導入しているのは、政令指定都市（１３都市）では、仙台市、千葉市、名古屋市、北九州市、福岡市の５都市で、この内、北九州市は有料の指定袋制を導入しています。

指定袋制の導入によって、分別排出の徹底（異物の混入防止）、ごみの減量・リサイクルの促進、収集作業の安全の確保（透明なので危険なものを入れにくい、尖ったもの・重いものがあれば事前に見えることで収集員の怪我や腰痛が防止）、家庭系ごみへの事業系ごみの混入防止、排出者の環境意識が向上などの効果があるといわれています。

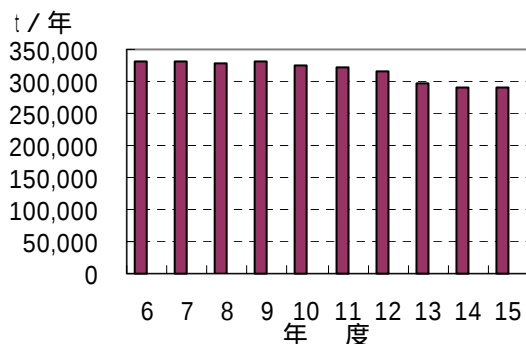
また、有料指定袋制の導入では、上記の効果に加えて、ごみの減量・リサイクルがより促進するほか、負担の公平化（ごみ減量の努力をする人ほど負担が小さくなる）が図れるといったメリットがあります。

現在のごみの処理は、公害防止対策の強化などに多額の費用を要しており、ごみ減量・リサイクルをさらに拡大し、ごみの処理量そのものを減らす必要があります。有料指定袋制を導入した場合、市民によるごみ減量・リサイクルの自主的取組への支援策にも活用することが可能となり、ごみの処理量を大幅に減らすことができると考えられます。

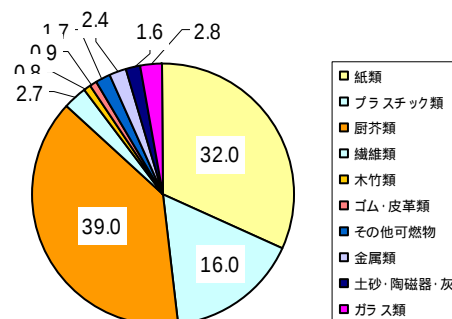
(関係資料)京都市のごみ処理の状況

ごみ量，ごみ質の状況

家庭ごみの量はやや減少傾向にありますが，ごみ中には，紙，プラスチックなど資源化物がまだ多く含まれています。



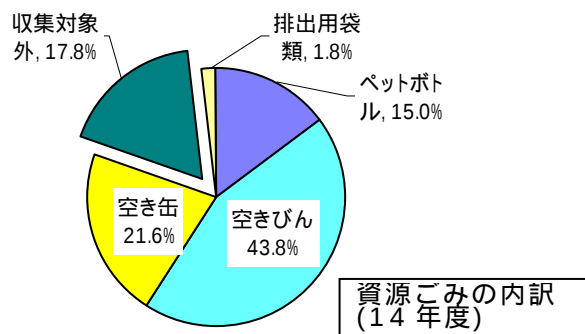
ごみ量の変化



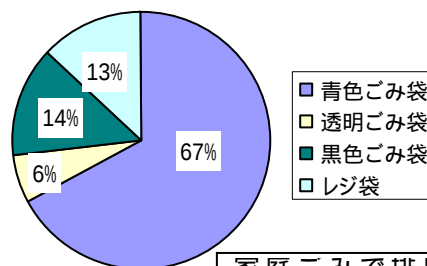
ごみ質(14年度)

資源ごみの排出状況等

資源ごみ中に異物（収集対象外）が約18%も含まれています。



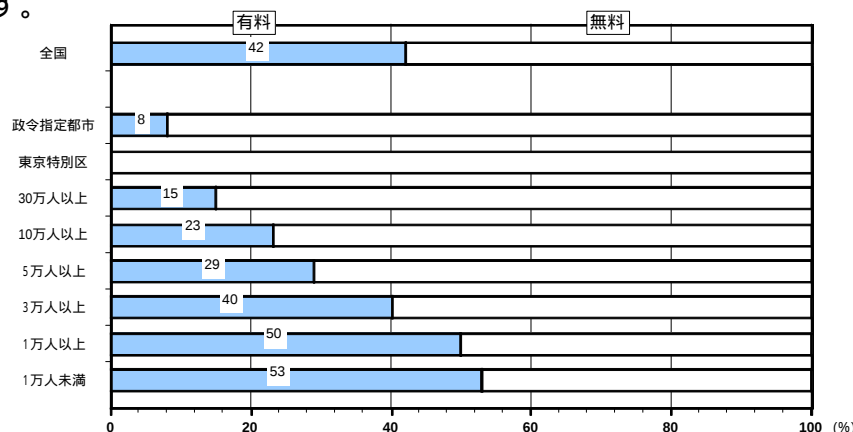
資源ごみの内訳
(14年度)



家庭ごみで排出される袋の種類(14年度)

家庭ごみ有料化の全国状況

全国の都市（回答のあった1,295自治体）の42%ですでに有料化が進んでいます。



「ごみ処理の有料化に関する調査」
(全国都市清掃会議 平成15年3月)

京都市のごみ処理費用等

- ごみ処理にかかる費用 約 68円/kg (平成14年度)
- 1年間に1世帯で排出するごみ量 約 460kg/世帯 (平成14年度)
- 1年間に1世帯で使用するごみ袋 約 100枚 (45ℓのごみ袋で換算)
- 1袋あたり(45ℓ)の処理費用 約 300円

問1 あなたの御家庭では、現在、どのようなごみ袋を使っていますか。色や大きさ、一カ月の使用枚数、購入（入手）先について、家庭ごみ、資源ごみ、小型金属類、プラスチック製容器包装（モデル地区のご家庭のみ）の収集区分別に、「日頃一般に使用しているごみ袋（ア）」と、「たまに使用しているごみ袋（イ）」の2つについて、記入例にしたがって御回答下さい。「たまに使用しているごみ袋」がなければイの欄の記入は不用です。

（該当する番号1つを選択）

1. 70～90ℓのごみ袋 2. 40～50ℓのごみ袋
 3. 20～30ℓのごみ袋 4. スーパーのレジ袋
 5. 10ℓ以下の小さな袋 6. 京都市の資源ごみ推奨袋
 7. 段ボール箱等その他

・青
他

		大きさや形態	色	月間使用枚数	購入（入手）先
<記入例>	ア 一般に	2	2	約（ 8 ）枚	①小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
	イ たまに	4	1	約（ 4 ）枚	1.小売店で購入 ②スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
家庭ごみ	ア 一般に			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
	イ たまに			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
缶・ビン・ペット	ア 一般に			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
	イ たまに			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
小型金属類	ア 一般に			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
	イ たまに			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
プラスチック製容器包装 （モデル地区のみ）	ア 一般に			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他
	イ たまに			約（ ____ ）枚	1.小売店で購入 2.スーパー等でもらう 3.景品 4.その他

問2 あなたの御家庭では、1カ月にごみ袋代としてどの程度支出していますか。

（該当する番号1つに○印）

問3 透明指定袋の導入方式にはいくつかの方式がありますが、他都市等での導入実績等を踏まえ、単純指定袋制及び有料指定袋制（従量方式、超過量方式）の3つの方式を検討しているところです。
（1）以下の3つの方式のうち（詳細をお知りになりたい方は別添資料をご覧ください）、どの方式が最もあなたの御意見に近いでしょうか。また、その方式に賛成する程度についてもお答え下さい。
なお、ここで示した方式ごとの内容は、あくまで典型的な場合を例示したもので、このまま京都市にそのまま適用するというものではありません。

質問，への御回答
をお願いします。

種 類	概 要（案）		指定袋の適用(案)				各方式の特徴（案）（○×等の評価は下欄参照）								質問	質問	
			家庭ごみ	缶・びん・ペット	小型金属	プラスチック製容器包装	A 透明化の効果 排出袋の	B ごみ減量行動への誘導			C 費用負担の 公平化	D ごみ減量意識 市民に対する の浸透	E 減量・リサイ クル活動展開 市民のごみ	F 袋の入手や 使い勝手	G 市の財政負担	H 不法投棄の 懸念	
	共通事項	個別事項						発生抑制	リサイクル	市民の負担感							
単純指定袋制	■排出方法： 色，透明度，大きさ等の規格が定められた指定袋に入れて排出。指定袋でない場合は，取り残す。 ■大 き さ： 一般的には，大(45ℓ袋)，中(30ℓ袋)，小(15ℓ袋)等に限定。 ■販 売： スーパー・コンビニエンスストア等の小売店で販売。	■概要：市がごみ袋の規格を定め，製造する事業者を認定。市内小売店でごみ袋を自由販売。 ■袋 代：45ℓのごみ袋1枚で概ね10円程度（現在のごみ袋と同じ）。 ■減量効果：有料制に比べ減量効果は小さいが，分別排出の徹底，リサイクルが促進されるなど，1割程度のごみ減量が期待できる。	単純指定袋	単純指定袋		単純指定袋											あなたが選んだ方式に賛成する程度をお教え下さい。 <該当する番号1つに○印>
		有料指定袋	単純または有料指定袋（袋原価相当）	透明袋であれば可	単純または有料指定袋（袋原価相当）				×				×		×	条件については次ページ以降に記載	
		+有料指定袋（超過分高額料金）有料指定袋（袋原価相当）	単純または有料指定袋（袋原価相当）		単純または有料指定袋（袋原価相当）								×	×	×		
有料指定袋制	従量方式	■概要：ごみ袋の価格にごみ処理費用の一部が含まれて販売。ごみを多く出す人ほど袋代の負担が大きくなる。市が袋の流通を管理。 ■袋 代：45ℓのごみ袋では全国の有料化実施都市の平均で1枚45円程度。 ■減量効果：都市の特徴やごみ減量手段の充実度により異なるが，2割程度ごみの減量が期待できる。リサイクルの促進とごみの発生抑制も期待できる。	有料指定袋	単純または有料指定袋（袋原価相当）		単純または有料指定袋（袋原価相当）				×				×		×	1.おおむね賛成である 2.条件を満たせば賛成である
	超過量方式													×	×	×	1.おおむね賛成である 2.条件を満たせば賛成である

：現状より改善，○：現状よりやや改善，：現状とほとんど変わらない，×：現状よりやや悪化，××：現状より悪化（ここでの評価は審議会指定袋部会による）
有料指定袋制の場合の資源ごみ用指定袋については，家庭ごみ袋との料金格差をつけることにより動機付けを働かせる必要があるため，有料指定袋であっても販売・製造原価相当を想定している。単純指定袋でも有料指定袋でも袋価格は10円程度でほとんど変わらない。

(2) 前ページの (1) の質問 の賛成する場合の条件についてお答え下さい。

〔単純指定袋を最も望ましいと選択された方〕

＜該当する番号 5 つまでに○印＞

近くの 店で手
，形，強度等使いやすいこと
守るため， で包んで透明ごみ袋に入れて出すこ など
が許されること
適正な水準を維持されるように， 監視すること
のごみ等の公共的なごみ専用袋を無償配布す
底に努めること
げレジ袋も使えるように制度の運用を工夫すること
えるなど， を適用する
現在の案は，資源ごみのみ透明袋であれば袋の種類は構わない。)
(具体的に記載して下さい。)

〔有料制（従量方式又は超過量方式）を最も望ましいと選択された方〕

＜該当する番号 5 つまでに○印＞

軽に買えること
，形，強度等使いやすいこと
守るため，不透明の紙で包んで透 ことなど
が許され
ごみ処理費用等，有料化の価格設定の根 る
有料化の価格設定は，市民の負担増やごみ減量行
して決定
超過量方式では，最初の低額料金の袋枚数
排出量等を十分反映されている と
分別収集の拡充，集団回収やコミュニティ回収の 店頭回収の充実等，ご 減
量のための手段の拡充に努める
部は，ごみ減量活動支援基金や助 ること
の配慮を行うこと
・清掃ボランティア活動からのごみ等の公共的な すること
・分別が不適正なごみは取り残しをするなど，排 すること
・スーパーの手提げレジ袋も使えるように制度の
・ごみの分別区分すべてに有料指定袋制を適用す
現在の案は，資源行動を誘導するため家庭ごみ み有料指定袋制としている。
・その他（具体的 記載して下さい。)

(3) **従量方式の有料指定袋制**では、全国平均で見ると 4 5 ㍻の袋1枚で45円程度です。
一方、家庭ごみを捨てるのに、一般の平均的家庭で 1 カ月に約 9 枚のごみ袋を使用していますので、1 カ月の負担は400円程度となります。この負担に対してあなたはどのようなご意見をお持ちでしょうか。

<該当する番号 1 つに○印>

- 1 . この程度の負担であれば、問題はない
- 2 . 400 円と言えども、現在のごみ袋代支出より増えるので、負担感はある
- 3 . 家族人数も多く、ごみ袋の使用枚数は9枚よりも多く、負担が大きい
- 4 . この程度の負担では、ごみ減量行動へ誘導することは難しいと思われるので、もっと高い料金設定にすべきである
- 5 . 分からない
- 6 . その他（具体的に記載して下さい。）

(4) 指定袋制を導入するにあたって、特に配慮すべき事柄がありましたら、下欄に自由にご記入下さい。

(5) 指定袋制を導入するにあたって、ごみ袋の形、大きさ、デザイン等の提案がありましたら、下欄に自由にご記入下さい。

問 4 家庭系ごみの減量手段の拡充としてどのような内容を期待されますか。

<

1．コンポスト容器や電動式生ごみ処理装置の購入助成等の各戸での生ごみ対策の推進

2．家庭系生ごみの分別収集とバイオガス発電や堆肥化施設等による生ごみ対策の推進

3．集団回収やコミュニティ回収実施団体への報償金の交付，用具・倉庫の提供等，活動支援の充実

4．古紙・古布，その他プラスチック製容器包装等，資源化物の分別収集の拡充

5．市民が自由に資源を持ち込める，古紙・古布等の持込拠点（資源回収センター）の整備

6．発泡トレイ，牛乳パック，ペットボトル等の店頭回収の拡充

7．裸売り・量り売り等の包装の少ない販売活動の浸透

8．飲料容器へのデポジット制度（再利用びん等再利用飲料容器の預かり金とその返却制度）の普及

9．地域単位のごみ減量活動支援のための，講師派遣制度の充実

10．ごみ減量の取り組み事例等，情報提供の充実

11．耐久製品のレンタルシステムの普及

12．その他（具体的に記入して下さい。）

問 5 御回答者御自身や御家族について

（ 1 ）性別

<該当する番号 1 つに○印>

1．男

2．女

（ 2 ）年代

<該当する番号 1 つに○印>

1．20～29歳

2．30～39歳

3．40～49歳

4．50～59歳

5．60～69歳

6．70歳以上

（ 3 ）家族人数

<該当する番号 1 つに○印>

1．1人

2．2人

3．3人

4．4人

5．5人

6．6人

7．7人

8．8人以上

（ 4 ）居住地

<該当する番号 1 つに○印>

1．北区

2．上京区

3．左京区

4．中京区

5．東山区

6．山科区

7．下京区

8．南区

9．右京区

10．西京区

11．伏見区

(5) その他プラスチック製容器包装のモデル分別地区

<該当する番号 1 つに○印>

- 1 . モデル分別地区である 2 . モデル分別地区ではない 3 . 分からない

(6) 職業

に○印>

- 1 . 自営業 2 . 会社員・公務員等給与所得者 3 . 主婦（主夫）
4 . 学生 5 . 無職 6 . その他（ _____ ）

(7) 指定袋や一般ごみの有料制導入都市への居住経験

- 1 . 単純指定袋制の都市に住んでいたことがある
2 . 有料制を導入（大型ごみのみの場合は除く）した都市に住んでいたことがある
3 . これまでどちらの都市にも住んだことはない
4 . 自分でごみを出していなかったので分からない

(8) ごみになりそうな物を買わない，分別ルールを守る，古紙等をリサイクルするなど，日常生活における，あなたのごみの減量やリサイクルの具体的な行動の実践状況

<該当する番号 1 つに○印>

- 1 . いつも実践している 2 . 十分とは言えないが実践している
3 . あまり実践していない 4 . まったく実践していない 5 . わからない

■ 有料制を含む指定袋制のあり方に対して御意見があれば，下欄に自由に御記入下さい。

推奨袋を郵送させていただく御住所・氏名を御記入ください。

【住 所】〒

【氏 名】

お忙しい中ありがとうございました。同封の封筒に入れて，御返送ください。